

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	自然体験活動を通じた美しい宮崎づくり及び人財育成
助成事業者	NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク
代表者	理事長 土井 裕子

(目的)

これからの地域の担い手である子ども達と一緒に自然体験活動やゴミ拾い活動を通して、自然や環境への理解を深めるとともに、美しい宮崎づくりに取り組む。

(活動概要)

清流北川や河口部は環境省日本の重要湿地500に選定され、2019年3月には宮崎県の重要生息地に指定され、県レッドリスト掲載種が計81種と豊かな生態系が形成されている。当会において、年間を通して環境美化活動を実施しているが、干満の影響により、葦原の中に大量のゴミが流れついており、水面からでない、拾うことができないゴミが散乱している。そこで、これからの地域の担い手である子ども達と、カヌーや干潟の生き物調査などの自然体験活動を通して、自然や環境への理解を深め、大切にすることを育むと同時に、ゴミ拾い活動を行い、豊かな自然環境を守り、美しい宮崎づくりに取り組む。

(実施日及び実施内容について)

- ①実施日 | 令和元年7月29日 (月)
実施内容 | 干潟の生き物観察・ゴミ拾い・降雨体験^{※1}
場所 | 友内川及び資料館リバーパル五ヶ瀬川
参加人数 | 旭児童館 (子ども61名、引率4名)
- ②実施日 | 令和元年8月1日 (木)
実施内容 | 干潟の生き物観察・ゴミ拾い・降雨体験
場所 | 友内川及び資料館リバーパル五ヶ瀬川
参加人数 | こぼと児童館 (子ども19名、引率2名)
- ③実施日 | 令和元年8月2日 (金)
実施内容 | 干潟の生き物観察・ゴミ拾い・降雨体験
場所 | 友内川及び資料館リバーパル五ヶ瀬川
参加人数 | 方財保育園 (子ども11名、引率3名)
こぼと児童館 (子ども33名、引率4名)
- ④実施日 | 令和元年8月8日 (木)
実施内容 | カヌー体験、ゴミ拾い、降雨体験

場所 | 友内川、北川及びリバーパル五ヶ瀬川

参加人数 | 旭児童館（子ども14名、引率2名）

⑤実施日 | 令和元年8月9日（金）

実施内容 | 段ボールボート製作・乗船・川遊び・ゴミ拾い・降雨体験

場所 | 友内川及び資料館リバーパル五ヶ瀬川

参加人数 | 旭児童館（子ども16名、引率2名）

⑥実施日 | 令和元年8月16日（金）

実施内容 | 川遊び・干潟の生き物観察・ゴミ拾い・降雨体験

場所 | 友内川及び資料館リバーパル五ヶ瀬川

参加人数 | こぼと児童館（子ども19名、引率2名）

⑦実施日 | 令和元年8月22日（木）

実施内容 | 降雨体験・カヌー体験・ゴミ拾い

場所 | 友内川、北川及びリバーパル五ヶ瀬川

参加人数 | 童夢館児童クラブ（子ども18名、引率2名）

⑧実施日 | 令和元年10月11日（金）

実施内容 | 友内川水辺観察・ゴミ拾い・降雨体験

参加人数 | 高千穂小学校（子ども58名、引率4名）

※ 1 降雨体験（20mm、50mm、70mm、100mm、187mmの雨が体験できる施設どしゃぶりハウス）

■効果と今後の課題

計8回の実施で保育園から小学校高学年と幅広い年齢を対象に合計249名の参加があった。これからの地域の財産、担い手である子ども達が身近な川の素晴らしさや楽しさを知ることができた。

また、カヌーや干潟の生物観察等を通して、友内川・北川の豊かな自然環境に実際に触れる機会を提供することで、故郷の川への愛着の心や自然愛護の意識を育むことができた。

活発な子ども達は大人では入りにくい葦原の中でもゴミ拾いが行え、また継続して行ったことで、とても綺麗に河川環境が整えられた。これらの活動を通して、美しい宮崎づくりに欠かせない次世代の育成にも寄与できた。しかしながら、こうした活動は継続していくことが重要であるため、子どもから大人までの多世代、地域、関係機関等が一体となった取り組みを今後は推進し、持続的な河川環境の保護に努めたい。